

マルコの福音書 1章 【新改訳改訂第3版】

- 1 神の子イエス・キリストの福音のはじめ。
- 2 預言者イザヤの書にこう書いてある。「見よ。わたしは使いをあなたの前に遣わし、あなたの道を整えさせよう。
- 3 荒野で叫ぶ者の声がする。『主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。』」そのとおりに、
- 4 バプテスマのヨハネが荒野に現れて、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。
- 5 そこでユダヤ全国の人々とエルサレムの全住民が彼のところへ行き、自分の罪を告白して、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けていた。
- 6 ヨハネは、らくだの毛で織った物を着て、腰に皮の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。
- 7 彼は宣べ伝えて言った。「私よりもさらに力のある方が、あとからおいでになります。私には、かがんでその方のくつのひもを解く値うちもありません。
- 8 私はあなたがたに水でバプテスマを授けましたが、その方は、あなたがたに聖霊のバプテスマをお授けになります。」
- 9 そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来られ、ヨルダン川で、ヨハネからバプテスマをお受けになった。
- 10 そして、水の中から上がられると、すぐそのとき、天が裂けて御霊が鳩のように自分の上に下られるのを、ご覧になった。
- 11 そして天から声がした。「あなたは、わたしの愛する子、わたしはあなたを喜ぶ。」
- 12 そしてすぐ、御霊はイエスを荒野に追いやられた。
- 13 イエスは四十日間荒野にいて、サタンの誘惑を受けられた。野の獣とともにおられたが、御使いたちがイエスに仕えていた。
- 14 ヨハネが捕らえられて後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べて言われた。
- 15 「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい。」
- 16 ガリラヤ湖のほとりを通られると、シモンとシモンの兄弟アンデレが湖で網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師であった。
- 17 イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」
- 18 すると、すぐに、彼らは網を捨て置いて従った。
- 19 また少し行かれると、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネをご覧になった。彼らも舟の中で網を繕っていた。
- 20 すぐに、イエスがお呼びになった。すると彼らは父ゼベダイを雇い人たちといっしょに舟に残して、イエスについて行った。
- 21 それから、一行はカペナウムに入った。そしてすぐに、イエスは安息日に会堂に入って教えられた。
- 22 人々は、その教えに驚いた。それはイエスが、律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように教えられたからである。
- 23 すると、すぐにまた、その会堂に汚れた霊につかれた人がいて、叫んで言った。
- 24 「ナザレの人イエス。いったい私たちに何をしようというのです。あなたは私たちを滅ぼしに来たのでしょうか。私はあなたがどなたか知っています。神の聖者です。」
- 25 イエスは彼をしかって、「黙れ。この人から出て行け」と言われた。
- 26 すると、その汚れた霊はその人をひきつけさせ、大声をあげて、その人から出て行った。
- 27 人々はみな驚いて、互いに論じ合って言った。「これはどうだ。権威のある、新しい教えではないか。汚れた霊をさえ戒められる。すると従うのだ。」
- 28 こうして、イエスの評判は、すぐに、ガリラヤ全地の至る所に広まった。

- 29 イエスは会堂を出るとすぐに、ヤコブとヨハネを連れて、シモンとアンデレの家に入られた。
- 30 ところが、シモンのしゅうとめが熱病で床に着いていたので、人々はさっそく彼女のことをイエスに知らせた。
- 31 イエスは、彼女に近寄り、その手を取って起こされた。すると熱がひき、彼女は彼らをもてなした。
- 32 夕方になった。日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた人をみな、イエスのもとに連れて来た。
- 33 こうして町中の者が戸口に集まって来た。
- 34 イエスは、さまざまの病気にかかっている多くの人をいやし、また多くの悪霊を追い出された。
そして悪霊どもがものを言うのをお許しにならなかった。彼らがイエスをよく知っていたからである。
- 35 さて、イエスは、朝早くまだ暗いうちに起きて、寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。
- 36 シモンとその仲間、イエスを追って来て、
- 37 彼を見つけ、「みんながあなたを捜しております」と言った。
- 38 イエスは彼らに言われた。「さあ、近くの別の村里へ行こう。そこにも福音を知らせよう。
わたしは、そのために出て来たのだから。」
- 39 こうしてイエスは、ガリラヤ全地にわたり、その会堂に行って、福音を告げ知らせ、悪霊を追い出された。
- 40 さて、ツアラアトに冒された人がイエスのみもとにお願いに来て、ひざまずいて言った。
「お心一つで、私をきよくしていただけます。」
- 41 イエスは深くあわれみ、手を伸ばして、彼にさわって言われた。「わたしの心だ。きよくなれ。」
- 42 すると、すぐに、そのツアラアトが消えて、その人はきよくなった。
- 43 そこでイエスは、彼をきびしく戒めて、すぐに彼を立ち去らせた。
- 44 そのとき彼にこう言われた。「気をつけて、だれにも何も言わないようにしなさい。
ただ行って、自分を祭司に見せなさい。
そして、人々へのあかしのために、モーセが命じた物をもって、あなたのきよめの供え物をしなさい。」
- 45 ところが、彼は出て行って、この出来事をふれ回り、言い広め始めた。そのためイエスは表立って町の中に入る
ことができず、町はずれの寂しい所におられた。しかし、人々は、あらゆる所からイエスのもとにやって来た。

権威ある教え マルコの福音書1章より 2016年1月10日

I マルコの福音書

- (1) 最古の福音書: Cf. 「伝記」 福音書は最後の一週間の出来事に3分の1～半分を費やしている!
- (2) 筆者: マルコ (ペテロ [=目撃者、その場にいた弟子] の秘書・通訳)
- (3) 特徴: 教え<行動 「すぐに」 (ペテロの影響?)
- (4) 読まれる対象: ローマ帝国の影響下にある、まだクリスチャンではない人々

II 1章のポイント

(1) 「神の子イエス・キリストの福音のはじめ」(1)

- ☆ 「神の子」: "God"、"天主"、"上帝" Cf. 「人類はみな神の子」 / 「子」 "Son" 「御曹司」(一人前の息子)
- ☆ 「福音」: 「良い知らせ」 「吉報」 病気から治る以上のこと
- ☆ 「はじめ」: 「手ほどき」(本田哲郎訳)

(2) バプテスマのヨハネ

- ☆ 旧約的預言者の最後: 「女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネよりすぐれた人は出ませんでした。しかも、天の御国の一番小さい者でも、彼より偉大です。」(マタイ 11:11)
「山頂に立つ子どもは、谷底の巨人よりも高い」(F・B・マイヤー)
- ☆ 「(自分はメシア [=キリスト] の)くつ [=皮草履] のひもを解く値打ちもない」
最下層の奴隷の仕事



(3) ナザレのイエス

- ☆ ナザレ: 僻村、大工 [石工] の倅として 30 才までを過ごす
- ☆ 「天が裂けて御霊が鳩のように」 天と直結 「あなたはわたしの愛する子」(天からの声) 三位一体
- ☆ 漁師(シモン [=ペテロ]、アンデレ、ヤコブ、ヨハネ)を弟子に 不浄の職業 (本田哲郎)

(4) 権威ある教え

- ☆ 「律法学者たちのようではなく」

マタイ 5:21 昔の人々に、『人を殺してはならない。人を殺す者はさばきを受けなければならない』と言われたのを、あなたがたは聞いています。5:22 しかし、わたしはあなたがたに言います。兄弟に向かつて腹を立てる者は、だれでもさばきを受けなければなりません。

マタイ 5:27 『姦淫してはならない』と言われたのを、あなたがたは聞いています。5:28 しかし、わたしはあなたがたに言います。だれでも情欲をいだいて女を見る者は、すでに心の中で姦淫を犯したのです。

- ☆ 汚れた霊 [=悪霊] 「あなたは神の聖者です」 正しい神学だけで人は救われない
- ☆ 病気の癒やし、悪霊の追い出し : 「しるし」(ヨハネの福音書) = 証拠としての奇跡
e.g. パンの奇跡 [無から有]、ラザロの復活 [死からいのちへ]
- ☆ 使命: 「さあ、近くの別の村里へ行こう。そこにも福音を知らせよう。わたしは、そのために出て来たのだから。」
- ☆ ツァラアトの人の癒やし: 山浦玄嗣訳参照 「腐れ病」

伝道者の書 3:1 天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。… 3:7 引き裂くのに時があり、縫い合わせるのに時がある。黙っているのに時があり、話をするのに時がある。

II コリント 6:2 神は言われます。「わたしは、恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。」確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。